

あ い さ つ

三番瀬は、東京湾に残された貴重な干潟・浅海域であり、自然環境を再生して、地域住民が親しめる豊かな海域とし、次世代に引き継いでいくことが重要です。

三番瀬については、平成4年から5年にかけて、740ヘクタールの埋立が計画されましたが、千葉県環境会議から環境についての補足調査の実施や土地利用の再検討を行うようにとの提言が出される一方、埋立に反対する署名運動などにより、全国から注目されるようになりました。

こうした状況を踏まえ、県では、平成11年に埋立計画を101ヘクタールに縮小する案を公表しましたが、再び環境会議から周辺環境に及ぼす影響の検討や土地利用の精査等が求められるなど、三番瀬の埋立計画は長年にわたって紆余曲折を経てきました。

そこで、三番瀬の埋立計画を一旦白紙に戻し、徹底した情報公開と住民参加のもとで、三番瀬の保全と再生を目指して新たな計画をつくることとし、平成14年1月に、幅広い多くの方々の参加を得て三番瀬円卓会議を設置し、2年間の熱心な御議論を経て、平成16年1月に提言をいただきました。

その後、県では、この提言をもとに、基本計画と事業計画で構成する「三番瀬再生計画」を策定することとし、三番瀬再生会議からの答申や県議会での御議論、パブリックコメントなどを踏まえて、再生の理念や目標を定めた基本計画を策定いたしました。

さらに、この基本計画に基づき、5年ごとに具体的な事業を定めた事業計画を策定し、三番瀬の再生に着実に取り組んでまいります。

また、三番瀬については、長年の懸案事項である漁業補償問題や湾岸地域の交通混雑解消など、複雑かつ困難な諸問題を抱えており、県議会においても三番瀬問題特別委員会を設け、幅広く御審議いただいたところです。

今後とも、県民の信託に応えるため、県議会をはじめ、地域住民、地元市及び漁業者等関係者の御理解と御協力をいただき、これらの問題の解決に向けて努力してまいります。

おわりに、県議会の皆様をはじめ、県民、地域住民、三番瀬円卓会議及び三番瀬再生会議の委員、関係省庁及び地元市など、計画の策定に当たり御支援・御協力をいただいた皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、引き続き、三番瀬の再生に向けて、一層の御支援・御協力をお願いいたしまして、あいさつとさせていただきます。

平成18年12月

千葉県知事 堂本 暁子

